

各 位

2022年7月11日



会 社 名 株式会社ノダ
代表者名 代表取締役社長 野田 励
(コード番号7879 東証スタンダード)
問合せ先 取締役総務部長 良知 正啓
(TEL 03-5687-6222)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、前回（2022年1月17日）発表した2022年11月期第2四半期（累計）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

・2022年11月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2021年12月1日～2022年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,500	2,900	3,000	1,800	110.53
今回修正予想 (B)	38,600	4,690	4,980	2,980	182.99
増減額 (B) - (A)	3,100	1,790	1,980	1,180	
増減率 (%)	8.7	61.7	66.0	65.6	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2021年11月期第2四半期)	30,983	1,563	1,738	1,051	64.59

〔修正の理由〕

住宅業界におきましては、コロナ禍により世界の木材需給バランスが崩れ、木材の供給不足や価格高騰をもたらすウッドショックと呼ばれる状況が2021年の春に顕在化し、当第2四半期累計期間においてもその影響が継続いたしました。また、このウッドショックによって2021年の夏以降は合板の需給が著しく逼迫し、国内合板相場は国産・輸入とも大幅な上昇が続きました。

こうしたなか、当社グループは原材料の確保と製品の安定供給に取り組むとともに、原材料・副資材コストや物流コストの急騰への対応として、フロアや建具など建材製品の価格改定を行い収益の確保に努めました。また、合板につきましては、品薄感からコストアップに先行して販売価格の大幅な上昇が続きました。この結果、上記の通り当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高・利益とも前回発表予想を大幅に上回る見込みとなりました。

以上

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。